学校番号	T0301

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	高等学校 日本史Ａ 新訂版　（清水書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年表を活用して、歴史的事象を時系列で整理し、時代や年代ごとの変化をとらえられるようにしよう。
・歴史地図を活用しながら、「世界史の一部としての日本史」という視点で、国際的な背景に留意しながら、近現代の日本の在り方を考えよう。
・諸資料を用いて、近現代の日本の社会や国民の生活・文化に関心を持つようにしよう。

2　学習の到達目標

・政治・外交史を中心に日本の近現代史の概略を理解する。
・史実に対して謙虚に学び、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて判断し、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代史の展開に関する諸資料を収集し、情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査 ワークシート 授業観察	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	明治維新と近代国家の形成	・国際情勢の変化とﾍﾟﾘｰの来航 ・開国と国内秩序の混乱 ・幕末の政治情勢 ・明治政府の成立 ・近代化政策の展開 ・文明開化と民衆 ・新政府の国際承認	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:近代国家の形成と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を表現している。 c:近代国家の形成と社会や文化の特色に関する諸資料を活用している。 d:幕末の政治・国際情勢、新政府の成立と近代化などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 授業観察
	立憲政体の成立と国際的地位の向上	・自由民権運動と政党の結成 ・松方財政と民権運動の激化 ・立憲体制の確立 ・初期議会と条約改正 ・日清戦争と日露戦争 ・植民地経営と近代産業の発展	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	a:立憲政体の成立と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:立憲政体の成立と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を表現している。 c:立憲政体の成立と社会や文化の特色に関する諸資料を活用している。 d:自由民権運動の展開と松方財政、立憲政体の確立と条約改正、日清戦争と日露戦争などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 授業観察

後期	第一次世界大戦と日本	・護憲運動と大正デモクラシー ・第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 ・ヴェルサイユ講和とワシントン体制 ・政党政治の展開と社会運動の高まり	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○	a:第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を表現している。 c:第一次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を活用している。 d:大正デモクラシーと政党政治、第一次世界大戦への参戦とワシントン体制などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 授業観察
	第二次世界大戦と日本	・協調外交から強硬外交へ ・恐慌の時代 ・満州事変と国連脱退 ・二・二六事件と日中戦争 ・第二次世界大戦の勃発と日本 ・アジア太平洋戦争の勃発と日本の敗戦	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:第二次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b:第二次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を表現している。 c:第二次世界大戦前後における近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を活用している。 d:昭和期の恐慌と協調外交の破綻、15年戦争と日本の国際的孤立などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 授業観察

	戦後～現代の日本	・占領と改革 ・冷戦と占領政策の転換 ・日本の独立 ・55 年体制の成立と安保闘争 ・高度経済成長 ・経済大国への道 ・冷戦の終結と55 年体制の崩壊 ・21 世紀の日本と課題	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○ ○ 	a:戦後史・現代史に対する関心と課題意識を高めている。 b:戦後史・現代史から課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦後史・現代史に関する諸資料を収集し、活用している。 d:占領と改革、日本の独立、高度経済成長、55 年体制の崩壊などについての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解している。	定期考査 ワークシート 課題レポート 授業観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。